

虹ヶ丘新聞

第69号

ホームのようなまち まちのようなホーム

発行/社会福祉法人 与謝郡福祉会
高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘
編集責任者/石本 晃一
住所: 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3
TEL: 0772-43-2011
E-Mail: nijigaoka@yofuku.or.jp
URL: http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

新型コロナウイルス感染症予防のため、皆様には面会制限等、大変なご不便をおかけしております。一日も早く日常生活に戻れるようお願いしつつ、各部署の日常を紙面にまとめましたので、ぜひご覧ください。

東1番組のアイドル

面会ができないこともあり、ご入居者には寂しいお気持ちが見られます。いつもは言われないのに、「ここ最近では部屋にお送りすると、「一緒にテレビ観てえな」「ここに居って」とお聞きすることがあります。

そんな中「おしゃべり みーちゃん」が東1番組にやってきました。背中をトントンと叩くと「はーい、なんですか」とお話しする可愛いお人形です。こち

らから「お歌うたって」と声をかけると、この日は「♪おかしさん、なぐあに♪」と歌ってくれました。早くもご入居者のアイドルになり、みなさん優しい笑顔でみーちゃんを見つめています。



また、デイルームの窓から花壇が見えるようにしています。四季折々の花が咲くよう力を入れており、食堂やお部屋にも飾っています。十人十色でその方にあったケアを行っています。手洗いや消毒をお願いして、感染防止に努めながら、こんな時だからこそ、ちよつとした癒しになればと考えています。(東1)

日常に楽しみを『西2番組』

先日より、毎朝イベントホールで行っていたみんなの体操を自粛しました。西2番組からイベントホールまで移動することも良い運動になっており、他のユニットの方に挨拶するのも楽しみでしたが、今は仕方がないと諦め、少しでも運動不足の解消にと、ユニットにある滑車運動を頑張っています。

今年は桜の花見にも行けず、加悦谷祭りも中止となつてしまひ、春を感じることに少ないため、職員が家から八重桜やサツキを持って来てデイルームにいけ

ています。また、加悦谷祭りの日には、刺身やばら寿司、茶碗蒸し等のご馳走が、お誕生日にはご入居者のリクエストメニューが並び、大変喜ばれていました。長期間の面会制限



で心配されているご家族には、LINEのテレビ電話を使用し、久しぶりに顔を見ながら会話をされ、とても感激されています。ご希望の方は、LINEでテレビ電話ができません。(西2)

お昼のタコパ! 東2番組

こんにちは。東2番組です。長期間の面会制限中ですが、東2番組の皆様は変わりなく元気にお過ごしです。3月に2日間に渡って加悦方面・岩滝

方面にドライブに出かけました。桜がいっつもより綺麗で、車から眺めるだけになりましたが「きれかったで」「よかつたわ」と笑顔で戻って来られました。

東2番組の中でも何か楽しんでいたきたいと、4月の終わりに



には、昼食にたこ焼きパーティーをしました。皆さん目の前で焼かれるたこ焼きに興味津々で、焼く人、盛り付けをする人と役割を持って楽しめました。たこ焼きを食べた感想は「美味しいわ」「もっと食べたいわ」「こんなに美味しいならまた作ってよ」と皆さんから嬉しいお言葉をいただきました。(東2)

西3番組 春のたよし

西3番組からも近況を報告いたします。例年であれば恒例のお花見や、外出行事などを楽しんでいただくところですが、今年は感染リスクを考慮し、外出や面会を控えることとなりました。本来なら、笑顔いっぱいでお花見されている写真や、回転ずしを召し上がっている写真を掲載したかったのですが、今回は普段の生活の中での、笑顔の写真を掲載させていただきます。

先日中庭で蒔き取りの作業を、葉っぱ取りの作業を、ご入居者に手伝っていただきました。緊急事態宣言が解除されましたら、外出や外食をしていきたいと思ひます。(西3)



ケアハウスでマスク作り

全国でマスクが不足する状況の中、ケアハウスではご入居者と一緒にマスク作りに取り組みました。布を切る、ミシンをかける、アイロンをあてる、ゴムを入れる、細かな糸を切るなど、いくつかの工程を分担しながら行いましたが、「出来上がりはいつ?」と思った心配もすぐになくなり、丁寧な上に手際良く作られた結果、数十枚のマスクがあつという間に出来上がりしました。ケアハウスのご入居者にも配布し、喜んで頂きました。

また、食事についても今までは全員が同じ食堂で和気あいあいと食事をしていましたが、「3密を避けること」の取り組みとして、食堂を2つに分け、少数で席の間隔を作り、食事をしていただいています。寂しさもありますが、ありますが、少人数となつたことで、会話が弾む様子もあり、良い時間を過ごしていただいていると感じています。

(ケアハウス)



『ズンドコ体操』

ショートステイでは、毎日午前中にズンドコ体操を行っています。氷川きよしのズンドコ節に合わせて、身体を動かします。車椅子の方は座ったままで、立てる方は立ち上がって、それぞれ動かせる範囲で無理のないよう手足を曲げ伸ばし、身体機能の維持に繋がればと考えています。

体操の最後に皆さんで「ハイー」と大きな声を出して体操が終わりです。明るくテンポのある曲調なので、体操が終わると皆様自然と笑顔になっておられます。このズンドコ体操を始めてかれこれ7年目になります。日々慌ただしく時間が過ぎていきますが、どんなに忙しくてもほんの少し業務の手を止めて、ご利用者と一緒にするズンドコ体操をこれからも続けていきたいと思えます。(ショートステイ)



蕎麦打ち名人登場

虹ヶ丘デイサービスでは、毎年恒例の永濱運転手による蕎麦打ちの実演を3月に行いました。蕎麦粉は信州から取り



と大好評でした。ご馳走様でした!!

春なのに…

春爛漫の季節がやってきましたが、今年はコロナウイルスの影響もあって外出自粛となりました。皆さんと一緒に



にディールームが華やかになれるよう、カレンダーや飾りを作りました。早く外出できると良いですね。(デイ)

『春を味わう』神宮寺

春になり、過ごしやすいく気候になりました。神宮寺でもやはり外出やドライブに出かけられないため、神宮寺の境内を散歩したり、部屋の中でできるゲームや体操をいつも以上に活発に行っています。出かけられない分、楽しみは専ら「食

らせているため、味も香りもひと味違い、永濱職人のこだわり蕎麦を、ご利用者の皆様にふるまいました。おかわりを三杯された方もおられ、大変おいしかった

べること」。神宮寺のお昼ご飯は、いつも美味しいと評判で、時には地方や世界の郷土料理など、工夫を凝らしたメニューが登場し、旬の野菜や山菜を味わっていただいているのも特徴です。今年神宮寺の敷地内に、『ごみみ』が沢山生えており収穫しました。また、



去年は全く採れなかった『筍』が成り年だったようで、職員は時間を見つけては筍掘りに行き、時には野生の動物に先を越され、皮だけが散らかっている状況に涙しながら、3回も収穫できました。

ごみみはすまし汁や和え物に、筍はただけのご飯や天ぷらにして、美味しくいただきました。他にも、新わかめの味噌汁や酢の物、山椒の芽を使って白身魚の木の芽味噌焼きなど、色んな春の食材を味わっています。

来年は今の状況が落ち着き、自由にご利用者も外に出られたらなら、一緒に山菜の収穫をすることをから春を味わってもらいたいな…と思っています。(神宮寺)

